

### 自己評価票

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|---------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |   |   |                                 |
| <b>1. 理念と共有</b>    |   |   |                                 |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている  | 職員は地域密着型サービスの役割を理解し、理念にも地域密着型サービスの役割を反映させたものになっている。   |                                 |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる   | 各棟や事務室の目のつくところに掲示し共有化している。又、理念を頭に入れ、それに添った介護を提供できるように日々取り組んでいる。   |                                 |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる   | だれが見てもわかりやすいよう理念を掲示している。パンフレットや説明文書にも明示している。ホームだよりを定期的に発行している。  |                                 |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |   |                                 |
| 4                  | ○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | 実習生やボランティアの受け入れを行っている。以前は町内のゲートボール大会にも参加していたが、利用者の方々のレベル低下が著しく今は参加できていない。外部の人を受け入れる際にはプライバシーに十分配りよしている。 |                                 |

| 項 目                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|--|---------------------------------|
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |  |  |                                 |
| 5                            | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる  | 自己評価及び外部評価の大切さやねらいを理解してもらうよう説明し職員皆で評価を活かし取り組んでいる。                    |                                 |
| 6                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている  | 運営推進会議で自己評価及び外部評価の説明と結果を公表している。改善策についての意見交換をしメンバーからの意見を引き出そうと努力している。 |                                 |
| 7                            | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | ホームのパンフレットを配布し実態を理解してもらえるようにしている。市役所等に相談しながら課題解決に向けて協議している。          |                                 |
| 8                            | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している  | 外部研修に参加し、ホーム内でも内部研修や参考資料を各自学びながら理解している。                              |                                 |
| 9                            | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている  | 外部研修に参加したり、ホーム内でも各自学び、虐待を見過ごさないよう注意している。                             |                                 |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|--------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |  |                                |
| 10                     | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている            | 契約時に家族が納得するまで説明し不安や要望を尋ね、理解してもらうよう図っている。退去先の情報提供も行い安心してもらえるよう工夫している。 |                                |
| 11                     | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 苦情を出しやすいよう箱を置いたり、苦情窓口をもうけている。ホーム内の苦情解決困難な場合は外部に対応してもらえるよう体制を整えている。   |                                |
| 12                     | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている         | 職員の異動については報告し利用者の方々に動揺を与えないよう説明している。状況についても定期的に報告している。               |                                |
| 13                     | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 苦情受けつけ窓口をもうけ、苦情があった場合はすぐ対応し今後に反映させるようにしている。                          |                                |
| 14                     | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                       | 職員会議やミーティングにて職員の意見を出し合い反映させている。                                      |                                |
| 15                     | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 状況に応じて職員のシフト調整をしたり、柔軟に対応している。<br>又、他棟との協力も得ている。                      |                                |

| 項 目                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                         | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 16                 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 異動や離職の場合は、ダメージを最小限にするよう努力している。<br>引きつぎや申し送りを十分行い対応している。 |                        |                                 |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |  |   |                        |                                 |
| 17                 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 外部研修に参加後は報告書を作成し伝達も行っている。                               |                        |                                 |
| 18                 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 同業者との交流を計画するがなかなか都合が合わずできていない。                          |                        | 今後他の施設との交流を図っていきたい。             |
| 19                 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 定期的ではないが職員と管理者と話し合いや相談を行っている。                           |                        |                                 |
| 20                 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                           | 就業規則があり守られている。<br>定期的に年2回健診を行っている。                      |                        |                                 |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                              | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|--------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |   |                                |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                |
| 21                               | ○初期に築く本人、家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 入居希望があった場合は家族と本人に会い、面談しニーズの把握に努めている。                |                                |
| 22                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている               | 相談の際、その人にとって必要な優先順位をつけ、必要なものから提供するよう対応している。         |                                |
| 23                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している    | 可能な限り本人に見学に来て頂き雰囲気を見てもらうよう工夫している。                   |                                |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |   |                                |
| 24                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている       | 人生の先輩として接し、時には一緒に共有したり、学ばせてもらうことで支え合う関係を築くよう努力している。 |                                |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 25  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 情報交換を密に行ない、家族の意向も大切にしながら、よりよい対応に努めている。                    |                        |                                 |
| 26  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 面会や外出、外泊、文通の手伝いを行いながら、家族とのつながりを大切にしている。                   |                        |                                 |
| 27  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 家族の都合や本人の状況により難しい状況である。                                   |                        |                                 |
| 28  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 利用者同士の小さなトラブルについては職員が間に入り対応している。<br>孤立しないよう関わり合えるようにしている。 |                        |                                 |
| 29  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 必要時はサービス終了後も関わりをもったり相談にのったりしている。                          |                        |                                 |

| 項目                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|--------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |  |                                |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |                                |
| 30                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | カンファレンスやモニタリングで利用者の意向や家族の意向を把握するように努めている。                              |                                |
| 31                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | できるかぎり生活歴やライフスタイル、個性を大切にしよう努めている。                                      |                                |
| 32                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 1日の流れを日課表を作成し把握するようにしている。できる事は行ってもらうようにしている。                           |                                |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |                                |
| 33                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | カンファレンスやモニタリングで利用者の方々に応じた、ケアプランを作成するようにしている。職員間でもカンファレンスを行い計画に反映させている。 |                                |
| 34                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | モニタリングやカンファレンスにて見直しを行ったり、状況の変化に応じて作成するようにしている。                         |                                |

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)          | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------------------------|--------------------------------|
| 35                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | ケース記録や申し送りノートにて情報を共有し、ケアプランの見直しを行っている。   |                        |                                |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |  |                        |                                |
| 36                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 通い、宿泊、訪問は行っておらず、ニーズもない為今後必要があれば検討していきたい。 |                        |                                |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |  |                        |                                |
| 37                                 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 地域の方々との交流、協力を得ながら内部研修で勉強会を開いてもらったりしている。  |                        |                                |
| 38                                 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 必要に応じて連絡を取り合い事業者と話し合いを行っている。             |                        |                                |
| 39                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 必要に応じて地域包括支援センターへの連絡、相談を行っている。           |                        |                                |



| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                 | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|--------------------------------|
| 40<br>○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している   | できる限り、本人や家族の意向に添うよう医療機関と情報交換を行っている。定期受診、緊急時も相談している。             |                        |                                |
| 41<br>○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している  | かかりつけ医にいつでも相談し指示をもらえるようにしている。                                   |                        |                                |
| 42<br>○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている   | 週1回の看護師の訪問にて相談や報告をし、アドバイスをもらっている。連携体制も整っている。                    |                        |                                |
| 43<br>○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 入院中は退院に向けた話し合いや退院後注意すること等医師より指示をもらったり、相談したりしている。                |                        |                                |
| 44<br>○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | 看護師が入っている為重度化した場合も対応することとなっている。しかし医師より入院等すすめられた場合は医師の判断にゆだねている。 |                        |                                |
| 45<br>○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 重度化には対応しているが、終末期については対応できない状況である。                               |                        |                                |

| 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--------------------------------|
| 46<br>○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居<br>所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ<br>ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を<br>行い、住み替えによるダメージを防ぐこと<br>に努めている | 環境が変わることで認知症がすすんだり混乱した<br>りと、ダメージが考えられることは十分説明して<br>いる。それでも希望される時は情報収集に努めて<br>いる。 |                        |                                |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |   |                        |                                |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>   |   |                        |                                |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>   |   |                        |                                |
| 47<br>○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね<br>るような言葉かけや対応、記録等の個人情<br>報の取り扱いをしていない   | 常に尊重する気持ちで接していけるよう職員全体<br>で気を配るようところがけている。  |                        |                                |
| 48<br>○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きか<br>けたり、わかる力に合わせた説明を行い、<br>自分で決めたり納得しながら暮らせるよう<br>に支援をしている                       | 日々の関わりで利用者の希望や好みを把握してい<br>る。表情や言動についても観察している。                                     |                        |                                |
| 49<br>○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのでは<br>なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ<br>の日をどのように過ごしたいか、希望に<br>そって支援している                            | 利用者のペースや体調、精神状況に合わせたレク<br>を提供するようところがけている。  |                        |                                |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>  |   |                        |                                |
| 50<br>○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれがで<br>きるように支援し、理容・美容は本人の望む<br>店に行けるように努めている  | 月1回美容室の訪問にて支援している。できる方<br>には好みの衣服を身につけてもらっている。                                    |                        |                                |

| 項 目                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|---|------------------------|---------------------------------|
| 51                                  | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> |                        |                                 |
| 52                                  | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>              |                        |                                 |
| 53                                  | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>          |                        |                                 |
| 54                                  | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>      |                        |                                 |
| 55                                  | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                       |                        |                                 |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |   |                        |                                 |
| 56                                  | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>    |                        |                                 |

| 項 目                   |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                      | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|------------------------|--------------------------------|
| 57                    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>         | 利用者自らが金銭管理を行うことも必要と思うが他者とのトラブルや混乱、家族の希望もあり現在は行っていない。 |                        |                                |
| 58                    | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           | できる時は園外の散歩や畑を見学したり、車が空いていればドライブにも行くようにしている。          |                        |                                |
| 59                    | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        | 希望があれば家族へ連絡し外出してもらっている。                              |                        |                                |
| 60                    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                  | 希望時は文通の援助や電話をかけられるよう支援している。                          |                        |                                |
| 61                    | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                   | いつでも面会には対応している。<br>家族の宿泊の希望はない為、今後必要があれば検討していく。      |                        |                                |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |  |  |                        |                                |
| 62                    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | 職員が身体拘束は行わないという姿勢でできるかぎり対応している。                      |                        |                                |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|--------------------------------|
| 63  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     |                        |                                |
| 64  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              |                        |                                |
| 65  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        |                        |                                |
| 66  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     |                        |                                |
| 67  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               |                        |                                |
| 68  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> |                        |                                |

| 項 目                              |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|------------------------|--------------------------------|
| 69                               | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | おこりうるリスクについて家族に説明し対応策も都度見直しを行っている。                        |                        |                                |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |  |   |                        |                                |
| 70                               | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 常に体調の管理をし、バイタルの異常やボディチェックにて異変に早期に対応するようにしている。             |                        |                                |
| 71                               | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 副作用の把握や情報を伝達しながら症状の変化をチェックしている。                           |                        |                                |
| 72                               | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 排便コントロールを行い、水分、食事、運動のバランスに気をつけている。<br>内服の調整も医師の指示にて行っている。 |                        |                                |
| 73                               | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 口腔ケアを食後に行うことを支援している。一人ひとりの状況に合わせた対応を心がけている。               |                        |                                |
| 74                               | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている      | 1日の摂水量、摂取量を把握し、記録している。                                    |                        |                                |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)          | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 75                             | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 感染症のマニュアルを作成、その都度新しい情報収集に努めている。          |                        |                                 |
| 76                             | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 消毒をこまめに行う。食材を無だにしないよう、新鮮なものを提供するよう努めている。 |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |                        |                                 |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |  |                        |                                 |
| 77                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 花をかざったり親しみやすく入りやすいよう工夫している。              |                        |                                 |
| 78                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | その都度対応し心地よくすごせるよう工夫している。                 |                        |                                 |
| 79                             | ○共用空間における居場所づくり<br><br>共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 入居者同士でくつろげる場所をもうけている。                    |                        |                                 |

| 項 目                           |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)               | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 80                            | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br>のものを活かして、本人が居心地よく過<br>ごせるような工夫をしている | 危険でない限りはなじみのものを置いたりして<br>いる。                  |                        |                                 |
| 81                            | ○換気・空調の配慮<br><br>気になるにおいや空気のだよみがないよ<br>う換気に努め、温度調節は、外気温と大き<br>な差がないよう配慮し、利用者の状況に応<br>じてこまめに行っている    | 換気や温度、湿度調節をまめに行うよう対応して<br>いる。                 |                        |                                 |
| <b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |   |                        |                                 |
| 82                            | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か<br>して、安全かつできるだけ自立した生活が<br>送れるように工夫している                 | 手すりや洗面台は利用者の方が使いやすいよう工<br>夫している。              |                        |                                 |
| 83                            | ○わかる力を活かした環境づくり<br><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱<br>や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工<br>夫している                           | 居室前に目印となるものを貼ったり個々の力に合<br>わせ工夫している（目線の高さにする等） |                        |                                 |
| 84                            | ○建物の活用<br><br>建物を利用者が楽しんだり、活動でき<br>るように活かしている   | 中庭にベンチを置いたりプランターをかざった<br>り、畑を作って収穫したりしている。    |                        |                                 |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |
|------------------|--|---|
| 項 目              |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
| 85               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 86               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                  |
| 87               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 88               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 89               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 90               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 92               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない    |
| 93               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)   |
|-----|---|---|
| 94  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない           |
| 95  | 職員は、活き活きと働けている  | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない       |
| 96  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 97  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームでは本人が自分らしく暮らし続けられるよう支援する場だと思うので、利用者の方々の生活習慣や、家族の意向を可能な限り介護に反映させるようにしている。